

弘前大学医学部附属病院で診療を受けられた皆様へ

当院では下記の臨床研究に用いるため、患者さんの試料・情報を利用させていただいておりますので、お知らせいたします。

研究課題名： ヒト組織を用いた慢性腎臓病タンパク質発現に関する病理学的・生化学的検討

研究の目的

慢性腎臓病（CKD）は慢性に経過する全ての腎臓病のことで、様々な代謝経路や分子に影響を及ぼします。例えば、カルシウム代謝に関係するカルシウム感知受容体（CaSR）、副甲状腺ホルモン（PTH）受容体や尿酸代謝に関係するキサンチンオキシダーゼ（XO）に影響します。しかしながら、ヒト各臓器におけるこれら分子のCKDによる変化はよくわかっておりません。本研究では剖検組織における上記分子の変化について評価します。

研究実施期間： 倫理委員会承認日より2028年3月31日

対象となる方： 倫理委員会承認日より2027年4月1日までの間、附属病院で剖検を受けた対照20症例、CKDを有する10症例、合計30症例

利用させていただきたい試料・情報について

（他機関に提供する場合、提供先機関の名称及び当該機関の研究責任者氏名含む）

当院のカルテに記録されている情報のうち、末梢血、生化学、画像データについて、標記研究課題実施のために利用します。剖検により採取された肝臓・腎臓・脳・脂肪・消化管・骨・肺、リンパ節・筋肉・神経などのPTH受容体、CaSR、XOの生理的発現、活性についてCKDによる発現変化を明らかにしたいと思っております。XO活性の測定については三和化学研究所で測定してもらいます。なお、利用に当たっては氏名、住所、電話番号、患者番号等個人を特定できる情報を削除し、本研究のための固有の番号を付して（これを匿名化といいます）、行います。研究成果については、学会発表や論文投稿等の方法で公表されますが、その内容から対象者個人が特定される事はありません。研究から得られた個別の結果については原則としてお答えしませんが、希望される方は下記連絡先までご連絡ください。本研究は三和化学研究所から契約に基づき受ける共同研究費で行われ、研究者の利益相反は所属研究機関内の規程に従い適正に管理されます

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合や、試料・情報の利用に同意いただけない代理人（患者さんの2親等以内の親族）の方は、以下の連絡先までご連絡ください。研究への利用に同意いただけない場合、当該患者さんの試料・情報については対象から除外します。ただし、連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承ください。

本件連絡先	分子病態病理学講座・水上浩哉 電話：0172-39-5025 e-mail：hirokim@hirosaki-u.ac.jp
--------------	---